



記念講座

「明治 50 年」の豊橋

— 建築から見た街の発展

明治 50 年とは、明治時代+ α のことで、100 年前をふり返ってみます。明治時代において豊橋に何が建てられたのか、何が変化したのか、建築から見た豊橋の発展について紹介します。

講師：西澤泰彦氏（名古屋大学環境学研究科教授）

講師は、豊橋在住の先生です。専門は建築史（日本および東アジアの近代建築）、技術史、土木史（都市基盤施設）で、帝冠様式（愛知県庁のようなお城の上の部分に乗った建物）研究の第一人者です。現在は名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学系の教授です。

著書：『図説満鉄 「満洲」の巨人』河出書房新社 2015、『東アジアの日本人建築家 世紀末から日中戦争』柏書房 2011、『植民地建築紀行 満洲・朝鮮・台湾を歩く』吉川弘文館 2011、『日本の植民地建築 帝国に築かれたネットワーク』河出書房新社 2009 など。

日時：平成 30 年 12 月 1 日（土）

13：30～15：00

会場：豊橋市中央図書館

3 階会議室

対象：どなたでも

定員：30 人（申込み順）

申込み方法：11 月 1 日より電話（31-3131）・2F 窓口で受付



第十五師団司令部